

# 中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：2019年度第4四半期（2020年1月～3月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：31社 建設業：20社 小売業：40社 サービス業：59社）

## DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

## \*記号とDI値の関係

 快晴 ~30.1	 晴 30.0 ~10.1	 薄曇 10.0 ~▲10.0	 曇 ▲10.1 ~▲30.0	 雨 ▲30.1~
---	--	--	--	---

## 1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

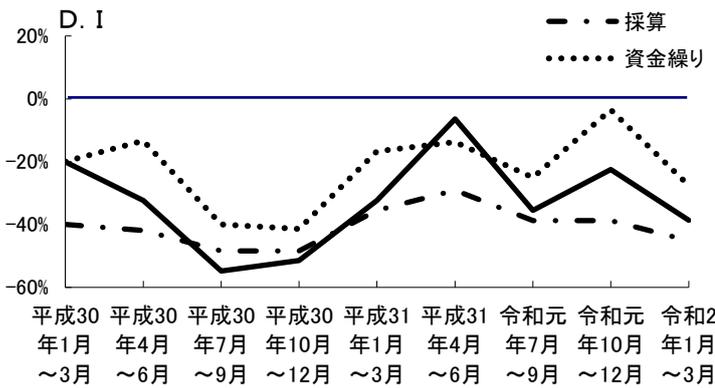
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	平成30年 1~3月期		▲ 43.3		5.0		▲ 58.5		▲ 45.8		▲ 35.7
平成30年 4~6月期		▲ 43.3		▲ 15.0		▲ 41.0		▲ 8.4		▲ 26.9	
平成30年 7~9月期		▲ 46.7		5.0		▲ 45.0		▲ 16.9		▲ 25.9	
平成30年 10~12月期		▲ 30.0		15.0		▲ 48.6		▲ 16.9		▲ 20.1	
平成31年 1~3月期		▲ 36.7		20.0		▲ 47.5		▲ 28.8		▲ 23.3	
平成31年 4~6月期		▲ 23.4		30.0		▲ 45.0		▲ 12.1		▲ 12.6	
令和元年 7~9月期		▲ 36.7		20.0		▲ 41.0		▲ 15.2		▲ 18.2	
令和元年 10~12月期		▲ 26.7		10.0		▲ 46.2		▲ 25.4		▲ 22.1	
令和2年 1~3月期		▲ 43.3		0.0		▲ 55.0		▲ 23.7		▲ 30.5	
来期見通し 4~6月期		▲ 46.7		▲ 15.0		▲ 55.0		▲ 30.5		▲ 36.8	

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

## 2.業種別景気動向

### ①製造業



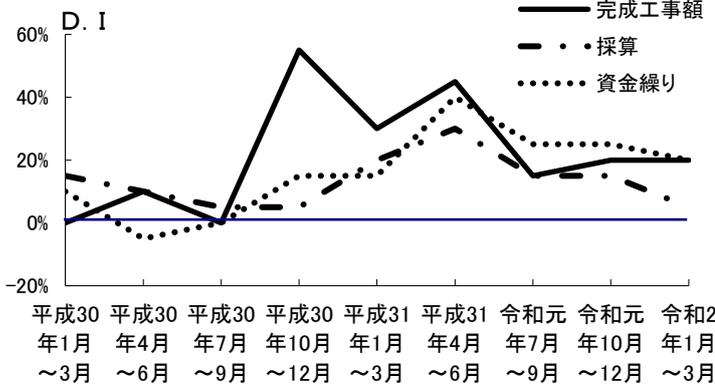
#### <前期比>

売上額 : 悪化 (▲22.5→▲38.6 ポイント)  
採算 : やや悪化 (▲38.7→▲45.2 ポイント)  
資金繰り : 悪化 (▲3.5→▲27.6 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 原材料価格の上昇、需要の停滞 (20.7%)  
2位 : 製品ニーズの変化、従業員の確保 (10.3%)

### ②建設業



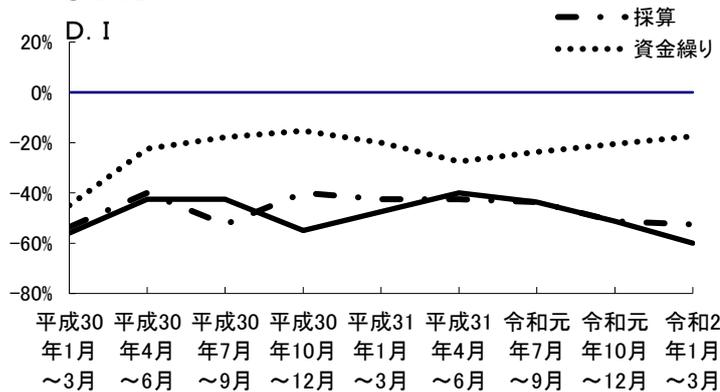
#### <前期比>

完成工事額 : 横ばい (20.0→20.0 ポイント)  
採算 : やや悪化 (15.0→5.0 ポイント)  
資金繰り : やや悪化 (25.0→20.0 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 官公需要の停滞 (23.1%)  
2位 : 材料価格の上昇、材料の入手難、  
熟練技術者の確保難、民間需要の停滞 (15.4%)

### ③小売業



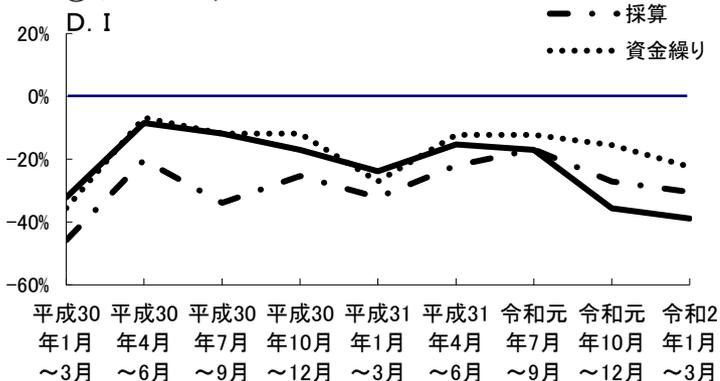
#### <前期比>

売上額 : やや悪化 (▲51.3→▲60.0 ポイント)  
採算 : やや悪化 (▲51.3→▲52.5 ポイント)  
資金繰り : やや好転 (▲20.5→▲17.5 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 購買力の他地域への流出、需要の停滞 (23.1%)  
2位 : 消費者ニーズの変化 (15.4%)

### ④サービス業



#### <前期比>

売上額 : やや悪化 (▲35.6→▲38.9 ポイント)  
採算 : やや悪化 (▲27.1→▲30.5 ポイント)  
資金繰り : やや悪化 (▲15.5→▲22.4 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (22.4%)  
2位 : 材料等仕入単価の上昇、従業員の確保難 (16.3%)